

2020年度 法科大学院

第2期末修者

入学試験問題

(小論文方式)

試験時間 80分

注意事項

- (1)試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2)この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3)試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4)解答は必ずそれぞれの解答用紙に記入してください。下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (5)参照は不可となっています。
- (6)解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (7)試験問題の内容等について質問することはできません。
- (8)問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (9)試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

[小論文1]

以下の日記文を読み、続く問いに答えなさい。日記の書き手は Q、某大学法学部に入学したばかりの女子学生である。(100点)

4月12日(金) 曇り

今日は2限に P 教授の法学のゼミが入っているので、早く家を出た。前々から目を付けていた駅裏の喫茶店 WEST に初めて入った。窓は大きいけど、中の照明は暗く、シックな雰囲気。サチコがバイトしているカフェとは全然違う。ジャズっぽい曲が静かに流れていた。おとうさんの好きなクラシック音楽じゃないけど、あれなら落ち着ける。お客は、隅の方で本を読んでいる地味なおジサンが一人と、その隣の席に二人組の女性。このお二人は大きな声で、おしゃべりを楽しんでいる。そこに、初老の紳士が入って来た。そして、コーヒーを注文すると、すぐにケータイを出して電話をかけ始めた。一件終わると、また一件。四件目ぐらいだったかな。本読みのおジサンがコートを着てカバンを持ってレジの方に向かった。支払いをして出ていくのかと思ったら、突然「やめろ、見苦しいぞ」と紳士に向かって大声で叫んだ。紳士もすぐには電話を切らないので、おジサンの怒りはますますエスカレート。あれにはびっくり。見た目は恐くないのに、とんでもない雷男だった。ケンカになるんじゃないかと心配したけど、しばらくして紳士が「すみません」と謝っていた。こんな雷男とケンカして大事になっては大変だと考えたんだろう。サチコのカフェだったら、パソコンで作業する人、スマホを繰る人、ケータイで話している人、雑談する人、いろんな人がいる。WEST は純喫茶だから、カフェほど自由じゃないとは思うけど、あの紳士はそれほど大きな声を出していたわけじゃない。どうして怒鳴られなきゃならないんだろう。店を出たところでカズオと一緒にいたので、この事件のことを話したら、なんと雷男の気持ちも分からんわけではないと言う。音量の問題だけじゃないのだそうだ。教室に着くと、「本日休講」の張り紙あり。せっかく早起きして出かけたのに。

4月19日(金) 雨

いよいよ法学のゼミの初日。チャイムが鳴ってしばらくすると、階段をドタバタ駆け上がる音がして、ドアが開いた。入ってきた P 教授の顔を見て、びっくり!!! 家に帰っておとうさんにこの話をしたら、「P 先生はきっと 1970 年代前半に学生生活を始めた人だな。その頃は学生街にまだいろんな喫茶店があったようだからね。おとうさんは一世代下だが、時代の雰囲気は想像がつくよ。しかし、時は流れたんだなあ」だって。

問1 Qはカフェと純喫茶をどのように区別していると考えられるか。300字程度で説明しなさい。

問2 P教授の怒りの原因について、カズオはどのようなことを考えているのだろうか。500字程度で説明しなさい。

[小論文 2]

[課題文]

日曜に想う 朝日新聞 2019 年 6 月 23 日より一部抜粋したもの

問 1

課題文は、「ハーメルンの笛吹き男」を、何に、どういう理由でたとえているか。(10 点)

問 2

課題文が指摘するネットの功罪をそれぞれ挙げ、これに関する自己の見解を述べなさい。
(30 点)